

大和の子～積み重ね つみ重ねでも またつみかさね～

令和 8年1月27日 No. 21 文責：校長 河野 太郎

ラジオに出演!? (5年生社会科見学)



1月22日（木）, 5年生は社会科見学で山口YBSと県立図書館に行ってきました。社会の学習で情報に携わる人々ということで、新聞やテレビにかかる仕事について学習した内容を確認するために出かけてきました。

テレビ局の見学で楽しいのは、普段テレビの画面越しに見ているスタジオの様子が、実際に見られるところです。YBSの前でバスが停まり、降りたところからドキドキしていた子どもたちです。

今回の見学は一度に2クラスだと人数が多くすぎるということで、前半と後半に分かれて見学することになりました。前半1組、後半2組の見学です。YBSを見学していないところは、その間に県立図書館を見学します。

YBSの中には螺旋階段があり、それを使って地下2階から地上8階まで行き来することができます。

「今日はね、8階までこの螺旋階段で歩いていきますよ。」
とスタッフの女性から声をかけられると、子供たちの心配そうな顔が浮かびます。

「でも、一気に登るのはきついから、所々で見学をしてもらうから大丈夫ですよ。」
ちょっとホッとします。

最初に訪れたのは「制御室」です。多くのモニタと時計があり、それぞれの映像が一目瞭然でわかります。ボリュームや照明の調整卓があり、放送の切り替えがスムーズにできるようになっています。その機材の多さにびっくりしていた子どもたちです。





続いてスタジオです。YBSワイドニュースや山梨スピーチといった番組のスタジオや「てててTV」などの番組のスタジオを見学しました。おなじみのスタジオで写真撮影もでき、子どもたちも嬉しそうでした。また、スタジオの機材の工夫やセットの大きさにも驚いていました。

螺旋階段を上り6階までいくと、奥のほうでガラス越しにラジオの生放送が行われているのが見えました。

「今日は、南アルプス市の櫛形北小学校の5年生の皆さんが見学に来ているようです。」

とパーソナリティの人の声が聞こえました。ガラス越しですが、ちゃんとスピーカーもありマイクもあるようです。子どもたちの受け答えがラジオから流れてくるのがわかります。

「みんなの好きな給食のメニューはなんですか？」

「カレーが好きな人？」

「これから何が楽しみですか？」

など短い時間でしたが、スタジオとやり取りができ、子どもたちも大喜びでした。

新聞や放送といった情報にかかる仕事について、たくさん学ぶことができた見学になりました。

北地区支えあい協議体の授業から(3年生)

3年生は社会の時間を中心に安全なまちづくりについて学習をしてきました。今回は、見守り活動やボランティア活動を進めている「支えあい協議体」について学習することになり、北地区支えあい協議体の皆様にご来校いただき、その活動についてお話をうかがいました。

北地区支えあい協議体には、「桃園」「曲輪田」「上宮地」の三つの支部があり、それぞれが活動を進めています。今回は、上宮地の石川様、桃園の茅場様、曲輪田の芦澤様の各地区代表の方々と事務局・社協の野中様が来てくださいました。

それぞれの活動は、地域の活性化を目指すものですが、やはり少しづつ特徴が出ていました。草刈りなどの生活のお手伝いやサロン活動、広報活動、食事会など、お年寄りや地域のだれもが楽しくなるような活動を進めています。中には映画会や紅白歌合戦を見る会など、楽しそうな内容のものもたくさんありました。学校でお世話になっているのは、見守り活動はもちろん通学路を中心とした草刈りや環境整備でしょうか。こうした地域の方々に助けられて、子どもたちも安全に過ごすことができています。本当にありがとうございます。

「地域を盛り上げていこう。子どもから大人、お年寄りまで暮らしやすくなるように、という思いで活動を続けています。小学生の皆さんも、ぜひ活動に参加してみてください。」
と代表の石川様。地域を盛り上げる活動の楽しさを子どもたちも感じたようでした。

